

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
専門	成人看護学概論	1	15	1 年次 ・ 2 学期
担当講師	専任教員（病院での看護経験あり）			
授業概要	成人期の特徴は、人のライフサイクルの中で身体的・精神的に安定し、社会・経済的に大きな役割と責任を背負っている。本授業では、成人の位置づけおよび成人各期の特徴と発達課題を理解する。成人期にある対象の健康問題と健康生活を支える看護について学ぶ。			
授業目標	1. 成人看護の概念と構成、成人看護学の特性について理解できる。 2. 成人期における保健・医療・福祉の動向と課題が理解できる。 3. 成人看護における倫理と看護者の役割が理解できる。 4. 成人期にある人の健康レベルにおける枠組みが理解できる。 5. 成人看護に使用される理論・モデルが理解できる。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. 成人看護学の対象論（成人の特徴と生活） 1) 成人の生活 2) 成人期の生活と取り巻く環境（インタビュー）			
第 2 回	2. 成人期の発達課題とその特徴 青年期・壮年期・中年期・向老期の身体・心理・社会的特徴			
第 3 回	3. 成人期の健康課題と生活に及ぼす影響 1) 生活習慣 2) 職業 3) ストレス			
第 4 回	4. 成人における健康の保持・増進や疾病の予防 1) 生活者への援助 2) ライフスタイルにおける成長発達への看護援助 3) 健康レベルに応じた看護援助			
第 5 回	5. 成人看護に使用される理論・モデル ストレス・コーピング、危機理論、自己効力、アンドラゴジー、セルフケア理論、病みの軌跡、エンパワーメント、健康信念モデル			
第 6 回 ～7 回	6. 成人期における健康課題への取り組み			
第 8 回	7. 認定試験			
自己学習 関連科目	1 学期に学んだ生活科学、看護学概論Ⅰ、健康論Ⅰ、地域・在宅看護論を復習して臨む。 また、自己の周囲に在る大人の 1 日の生活や役割について知っておくこと 社会学			
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 医学書院 国民衛生の動向			
評価方法	筆記試験：60％、レポート課題等：40％			

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
専門	成人健康維持論	1	15	2 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師（専任教員経験・病院での看護経験あり、入退院支援センター経験あり）			
授業概要	この科目では病気を回復過程と捉え、その支援を健康の維持・増進に向けた支援として学ぶ。成人看護学の特性と様々な健康レベルにおける看護援助の知識を活用し、各健康レベルにある成人期にある対象の健康回復・維持・増進に向けた看護について具体的に理解できるように教授する。			
授業目標	急性期にあつて治療を必要とする人・健康の再構築の支援を必要とする人・ターミナル期（終末期）にある対象の、健康レベルに沿った回復・維持・増進に向けた支援を理解する。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1～2 回	1. 健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護 健康の急激な破綻 急性期にある人の特徴			第 1 回 ～ 4 回
第 3 回	2. 慢性病とともに生きる人を支える看護 慢性病と慢性病を持つ人の特徴 慢性病とともに生きる人を支える			
第 4 回	3. 障害のある人の生活とリハビリテーション 障害がある人とリハビリテーション 障害がある人とその生活を支援する看護			
第 5～6 回	4. さまざまな健康レベルにある人の継続的な移行支援 移行支援の基礎知識 継続的な意向を支える支援の実際			第 5 回 ～ 6 回
第 7 回	5. 人生の最期のときを支える看護 人生の最期のときにおける医療の現状 人生の最期のときを過ごしている人の理解 人生の最期のときを支える看護			第 7～8 回
第 8 回	6. 認定試験（45 分）			
自己学習 関連科目	1 年次に学んだ健康障害援助論を復習して臨む。 関連科目：健康教育論、地域・在宅健康維持論、成人援助論Ⅰ、成人援助論Ⅱ			
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 医学書院			
参考図書	適宜指示			
評価方法	筆記試験：100%（第 1～4 回・7 回：70%、第 5～6 回：30%）			

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
専門	成人援助論 I	1	30	2 年次 ・ 1 学期
担当講師	専任教員（病棟での看護経験あり） 非常勤講師（病院での呼吸器看護経験、循環器看護経験、腎・泌尿器看護経験あり）			
授業概要	成人期における各系統別の看護と病期にあわせた看護を学ぶ。 各々の機能障害と看護を学ぶために主要な疾患をもとに、生命・生活に及ぼす影響とそのケアを学ぶ。またペーパーペイシエントを用い、成人期で健康障害のある慢性期（急性増悪を含む）対象の特徴を踏まえ、身体的・精神的・社会的・霊的な側面から必要な支援を看護過程の思考に基づいて判断する。対象理解や支援の方法を理解するために看護理論を活用する。			
授業目標	1. 呼吸、循環、腎（内部環境調節）機能の障害がもたらす生命・生活への影響を理解する。 2. 機能障害を把握し、状態に応じた看護を理解する。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回 ～4 回	1. 呼吸機能障害のある患者の看護 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 酸素化障害、換気障害、呼吸運動障害、生命・生活への影響 2) 検査・処置を受ける患者への看護 動脈血液ガス分析、呼吸機能検査、気管支鏡検査、胸腔穿刺、肺生検 3) 治療を受ける患者の看護 酸素療法、非侵襲的陽圧換気、侵襲的陽圧換気、肺切除術 胸腔ドレナージ、吸入による薬物療法、薬物療法 4) 病期や機能障害に応じた看護 腫瘍（肺癌、中皮腫）、炎症性疾患（肺炎、気管支炎、胸膜炎） 慢性閉塞性肺疾患＜COPD＞、気管支喘息			第 1 回 ～ 4 回
第 5 回 ～8 回	2. 循環機能障害のある患者の看護 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 ポンプ機能障害、刺激電動障害、血管・リンパ管障害 生命・生活への影響 2) 検査・処置を受ける患者への看護 心電図、心血管超音波、血管造影、心臓カテーテル 3) 治療を受ける患者の看護 経皮的冠動脈形成術＜PCI＞、冠動脈バイパス術＜CABG＞ 弁置換術・弁形成術、大動脈内バルーンポンピング＜IABP＞ ペースメーカー、植え込み型除細動器、血栓溶解療法・血栓除去術 4) 病期や機能障害に応じた看護 5) 心不全、虚血性心疾患、弁膜症、不整脈、閉塞性動脈硬化症			第 5 回 ～8 回

第 9 回 ～12 回	3. 腎（内部環境調節：体温、体液量、電解質、酸塩基平衡）機能障害のある患者の看護 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 体温調節機能障害、体液量調節機能障害、電解質調節機能障害 酸塩基平衡調節機能障害、生命・生活への影響 2) 検査・処置を受ける患者への看護 腎生検、静脈性尿路造影 3) 治療を受ける患者の看護 食事療法、急性期持続血液濾過透析、血液透析、腹膜透析＜CAPD＞ 腎移植 4) 病期や機能障害に応じた看護 低体温症、急性腎不全、慢性腎不全、慢性腎臓病、腎移植術後	第 9 回 ～ 12 回
第 13 ～14 回	4. 慢性期看護の展開及び演習 慢性期（急性増悪含む）看護の特徴を捉え、看護過程の思考に基づいて判断し、対象理解や支援を考え、看護場面の演習として一部実施する。	第 13 回 ～15 回
第 15 回	5. 認定試験・まとめ	
関連科目	自己学習：症候治療論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、症候各論Ⅰ・Ⅱ、健康障害援助論を復習してから臨む。 また、各期における特徴と成人期の特徴を理解しておく。 関連科目：専門分野の成人健康維持論	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学① 成人看護学総論 医学書院 系統看護学講座 専門看護 基礎看護学 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学③ 循環器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学② 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院	
参考図書	筆記試験及びレポート課題等：100%（各講師 25%）	
評価方法	講義及び個人ワーク・グループワークを通して学ぶ。	

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
専門	成人援助論Ⅱ	1	30	2 年次 ・ 1 学期
担当講師	専任教員（病院での看護経験あり） 非常勤講師（病院での消化器看護経験、内分泌看護経験、内分泌・代謝看護経験あり）			
授業概要	成人期における各系統別の看護と病期にあわせた看護を学ぶ。 各々の機能障害と看護を学ぶために主要な疾患をもとに、生命・生活に及ぼす影響とそのケアを学ぶ。またペーパーペイシェントを用い、成人期で健康障害のある急性期の対象の特徴を踏まえ、身体的・精神的・社会的・霊的な側面から必要な支援を看護過程の思考に基づいて判断する。対象理解や支援の方法を理解するために看護理論を活用する。			
授業目標	1. 消化・吸収、栄養代謝、血糖（内部環境）調節機能障害がもたらす生命・生活への影響を理解する。 2. 機能障害を把握し、状態に応じた看護を理解する。			
回数	授 業 内 容			担当者
第1～5回	1. 消化・吸収機能障害を持つ患者への看護 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 咀嚼・嚥下障害、消化管機能障害、膵液分泌障害 胆汁分泌障害、生命・生活への影響 2) 検査・処置を受ける患者への看護 上部消化管内視鏡、大腸内視鏡、消化管造影、直腸診 内視鏡的逆行性胆管膵管造影＜ERCP＞、造影 CT・MRI 3) 治療を受ける患者の看護 胃切除術、大腸切除術、膵切除術 腹腔鏡視下手術、人工肛門増設術、手術後ドレナージ 経腸栄養法、経静脈栄養法 4) 病期や機能障害に応じた看護 人工肛門増設後 上部消化管腫瘍（胃癌）、下部消化管腫瘍（大腸癌、結腸癌） 炎症性疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）、胆石症 2. 栄養代謝機能障害のある患者の看護			第1回 ～第5回
第6～7回	1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 肝機能障害、代謝機能障害、生命・生活への影響 2) 検査・処置を受ける患者への看護 腹部超音波、肝生検、腹腔鏡 3) 治療を受ける患者の看護 インターフェロン療法、食道静脈瘤内視鏡治療 肝動脈塞栓術、肝切除術 4) 病期や機能障害に応じた看護 肝炎、肝硬変、肝癌			第6回 ～7回
第8回	3. 血糖（内部環境）調節機能障害のある患者の看護			第8回

～9 回	1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 血糖調節機能障害、生命・生活への影響	～11 回
第 10 回	2) 検査・処置を受ける患者への看護 糖負荷試験<OGTT>、血糖自己測定<SMBG>	
～11 回	3) 治療を受ける患者の看護 インスリン補充療法、糖尿病経口薬による治療、食事・運動療法	
	4) 病期や機能障害に応じた看護 1 型糖尿病、2 型糖尿病、	
第 12 回	4. 内分泌機能障害のある患者の看護	
～14 回	1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 甲状腺機能障害、副腎機能障害、下垂体機能障害、生命・生活への影響	
	2) 検査・処置を受ける患者への看護 ホルモン血中・尿中濃度測定、ホルモン負荷試験	
	3) 治療を受ける患者の看護 甲状腺ホルモン療法、甲状腺切除術	
	4) 病期や機能障害に応じた看護 甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症） 腫瘍（甲状腺癌、下垂体腫瘍）	
第 12 回	5. 急性期看護の展開及び演習	第 12 回
～14 回	胃がんの健康障害のある対象の周手術期の事例を用いて急性期看護の特徴を捉え、看護過程の思考に基づいて判断し、対象理解や支援を考え、看護場面の演習として一部実施する。	～14 回
第 15 回	6. 認定試験・まとめ	
自己学習 関連科目	自己学習：症候治療論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、症候各論Ⅰ・Ⅱ、健康障害援助論を復習してから臨む。 また、各期における特徴と成人期の特徴を理解しておく。 関連科目：健康論Ⅰ、成人看護学概論、成人健康維持論	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学① 成人看護学総論 医学書院 系統看護学講座 専門看護 基礎看護学 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科総論 臨床外科看護総論 医学書院 系統看護学講座 消化器⑤ 成人看護学 系統看護学講座 内分泌・代謝⑥ 成人看護学	
参考図書	成人看護学 周手術期看護論 ノーベルヒロカワ 病気がみえる 代謝・内分泌 メディックメディア 医学書院	
評価方法	筆記試験及びレポート課題等：100%（第 1～5 回：35%、第 6～7 回：15%、第 8～11 回：20%、第 12～14 回：20%）	

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
専門	成人援助論Ⅲ	1	30	2 年次 ・ 2 学期
担当講師	専任教員（病院での看護経験あり） 非常勤講師（病院での脳神経看護経験、感覚器看護経験、感覚器・運動器看護経験あり）			
授業概要	成人期における各系統別の看護と病期にあわせた看護を学ぶ。 各々の機能障害と看護を学ぶために主要な疾患をもとに、生命・生活に及ぼす影響とそのケアを学ぶ。またペーパーペイシエントを用い、成人期で健康障害のある回復期（リハビリテーション期）対象の特徴を踏まえ、身体的・精神的・社会的・霊的な側面から必要な支援を看護過程の思考に基づいて判断する。対象理解や支援の方法を理解するために看護理論を活用する。			
授業目標	1. 脳神経、感覚器、運動がもたらす生命・生活への影響を理解する。 2. 機能障害を把握し、状態に応じた看護を理解する。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回 ～4 回	1. 脳・神経機能障害のある患者の看護 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 生命維持活動調節機能障害、運動・感覚機能障害、言語機能障害 高次脳機能障害、生命・生活への影響 2) 検査・処置を受ける患者への看護 脳波検査、髄液検査、脳血管造影 3) 治療を受ける患者の看護 開頭術、穿頭術、血管バイパス術、血管内治療、脳室ドレナージ術 脳室 - 腹腔＜V・P＞シャント術、低体温療法 4) 病期や機能障害に応じた看護 脳血管障害（大脳、小脳）、脳腫瘍（大脳、小脳）、頭部外傷 感染症（脳炎、髄膜炎）、脊髄損傷、重症筋無力症、 ギランバレー症候群、筋萎縮性側索硬化症＜ALS＞			第 1 回 ～4 回
第 5 回 ～6 回	2. 感覚機能障害のある患者の看護 ＜耳鼻咽喉＞ 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 聴覚障害、嗅覚障害、味覚障害、咀嚼・嚥下障害 生命・生活への影響 2) 検査・処置を受ける患者への看護 聴力検査、経鼻内視鏡検査、味覚検査 3) 治療を受ける患者への看護 鼓室形成術、小線源治療、喉頭・咽頭摘出術 4) 病期や機能障害に応じた看護 突発性難聴、メニエール病、副鼻腔炎、口腔・咽頭腫瘍（咽頭・喉頭癌）			第 5 回 ～6 回

第 7 回 ～11 回 第 12 回 ～14 回 第 15 回	<眼> 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 視覚障害、生命・生活への影響 2) 検査・処置を受ける患者への看護：眼底検査 3) 治療を受ける患者の看護 眼底光凝固療法、網膜剥離治療、眼内レンズ挿入術 4) 病期や機能障害に応じた看護：中途視覚障害者（白内障、網膜剥離等） <皮膚>＊身体防御機能障害のある患者の看護を含む 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 触覚障害、皮膚粘膜障害、生命・生活への影響 2) 検査・処置を受ける患者への看護 スキンテスト、粘膜・皮膚生検 3) 治療を受ける患者の看護 減感作療法 4) 病期や機能障害に応じた看護 末梢神経障害、アレルギー疾患 3. 運動機能障害のある患者の看護 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 姿勢機能障害、移動機能障害、作業機能障害、生命・生活への影響 2) 検査・処置を受ける患者への看護 関節可動域<ROM>検査、徒手筋力テスト<MMT>、膝関節鏡 脊髄造影、椎間板造影、筋生検 3) 治療を受ける患者の看護 ギプス固定、牽引法、人工関節置換術 4) 病期や機能障害に応じた看護 関節リウマチ、椎間板ヘルニア、四肢切断後 4. リハビリテーション看護の展開 及び 演習 5. 認定試験・まとめ	第 7 回 ～11 回 第 12 回 ～14 回
自己学習 関連科目	自己学習：症候治療論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、症候各論Ⅰ・Ⅱ、健康障害援助論を復習してから臨む。 また、各期における特徴と成人期の特徴を理解しておく。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学① 成人看護学総論 医学書院 系統看護学講座 専門看護 基礎看護学 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 脳・神経⑦ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 眼⑬ 皮膚⑫ 耳鼻咽喉⑭ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 運動器⑩	
評価方法	筆記試験及びレポート課題等：100%（第 1～4 回：25%、第 5～6 回：15%、第 7～11 回：35%、第 12～14 回：25%）	

専門	成人援助論Ⅳ	1	30	2 年次 ・ 2 学期
担当講師	専任教員（病院での看護経験あり） 非常勤講師（病院での血液疾患看護経験、腎・泌尿器看護経験、生殖器看護経験あり）			
授業概要	成人期における各系統別の看護と病期にあわせた看護を学ぶ。 各々の機能障害と看護を学ぶために主要な疾患をもとに、生命・生活に及ぼす影響とそのケアを学ぶ。またペーパーペイシェントを用い、成人期で健康障害のある終末期の対象の特徴を踏まえ、身体的・精神的・社会的・霊的な側面から必要な支援を看護過程の思考に基づいて判断する。対象理解や支援の方法を理解するために看護理論を活用する。			
授業目標	1. 脳神経、感覚器、運動がもたらす生命・生活への影響を理解する。 2. 機能障害を把握し、状態に応じた看護を理解する。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. 身体防御機能の障害（自己免疫疾患や造血器腫瘍）のある患者の看護 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 免疫機能障害、骨髄機能障害、生命・生活への影響			第 1 回 ～4 回
第 2 回	2) 検査・処置を受ける患者への看護 骨髄穿刺			
第 3 回	3) 治療を受ける患者の看護 免疫抑制薬、ステロイド療法、造血幹細胞移植 抗ヒト免疫不全ウイルス＜HIV＞療法			
第 4 回	4) 病期や機能障害に応じた看護 自己免疫疾患（膠原病等）、血液悪性疾患（白血病・悪性リンパ腫） ヒト免疫不全ウイルス＜HIV＞感染症			
第 5 回	2. 排尿機能障害のある患者の看護 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 畜尿・排尿障害、生命・生活への影響			第 5 回 ～6 回
	2) 検査・処置を受ける患者への看護 尿流動態検査、残尿測定、膀胱鏡			
第 6 回	3) 治療を受ける患者の看護 膀胱切除術、前立腺切除術、ホルモン療法			
	4) 病期や機能障害に応じた看護 腎・尿路結石、腫瘍（腎癌、膀胱癌）、前立腺肥大			
第 7 回	3. 性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護 性・生殖機能障害、ホルモン欠落症状			第 7 回 ～9 回
	2) 検査・処置を受ける患者への看護 ヒトパピローマウイルス＜HPV＞検査、腹部超音波、経膈超音波検査 乳房超音波検査、マンモグラフィー			
第 8 回	3) 治療を受ける患者の看護 勃起障害治療、性交障害治療、乳癌手術、女性生殖器手術			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

第 9 回	男性生殖器手術、ホルモン療法 4) 病期や機能障害に応じた看護 女性生殖器の疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫） 男性生殖器の疾患（前立腺炎、前立腺肥大） 腫瘍（乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、前立腺癌） 生殖機能障害（月経異常、更年期障害）	
第 10 回 ～14 回	4. 終末期看護の展開及び演習 事例を用いて、終末期看護の特徴を捉え、看護過程の思考に基づいて判断し、対象理解や支援を考え、看護場面の演習として一部実施する。	第 10 回 ～14 回
第 15 回	5. 認定試験・まとめ	
自己学習 関連科目	自己学習：症候治療論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、症候各論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、健康障害援助論を復習して臨む。また、各期における特徴と成人期の特徴を理解しておく。	
テキスト	系統看護学講座 専門看護 基礎看護学 「臨床看護総論」 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学 「女性生殖器」 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学 「アレルギー・膠原病・感染症」 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学 「血液・造血器」 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学 「腎・泌尿器」 医学書院	
評価方法	筆記試験及びレポート課題等：100%（第 1～4 回：25%、第 5～6 回：15%、第 7～9 回：20%、第 10～14 回：40%）	
備考	講義および個人ワークをもとにグループワークを行う	